

若草山から最短ルートで高取山へ 2017.5.16.
崖下の不思議な谷筋「車集落の農地」を横断して、高取山へ



私の住む若草の住宅のすぐ崖下に
不思議な地形の場所がある

長田

板宿

高取山

風早の
乗越

妙法寺

桜の杜

緑ヶ丘

幕末亜炭の採取跡？

妙法寺
車集落

若草

須磨アルプス

東山

民の青

桐尾山

横尾山

横尾団地

妙法寺駅

名谷ニュータウン
東落合団地

白川南
IC

Go

若草山から最短ルートで高取山へ 2017.5.16. 崖下の不思議な谷筋「車集落の農地」を横断して、高取山へ

須磨の海岸を東西に連なる高取山から馬の背・横尾山の須磨アルプスを眺める私の住む若草の丘
その南の直下崖下に周囲になじまぬ不思議な人工的な地形?と思える「車集落の農地」が広がり、その中央を
北東から南西へ妙法寺川の最上流が小さな谷川となって流れ下る。
その両側はなだらかではあるがでこぼこの傾斜地にいくつにも乱雑に区切られた農地が川に沿って、東西に広
がっている。そして、東西に広がるこの農地の南北端は東西に延びる急な崖となっていて、北側は車集落・若
草の住宅地が広がる丘。南側の崖の上には緑ヶ丘の住宅地が広がっている。

周囲の丘や山を切り開いて造られたニュータウンが広がる中で、ここだけが 区画整理もなく、
ごちゃ ごちゃに 区切られた小さな農地があぜ道で区切られて広がっている。
昔の田舎の記憶をそっくりそのまま、とどめているような農地が広がっているのです。

妙法寺地区は小さな山や丘が入り組んだ複雑な地域であることを考えると、元々は狭いV字の谷筋が切り開か
れたのではないかと推察できるように思えるのですが、なんとも不思議な地形として、取り残されている。
なんの根拠もなく地形の面白さから、ここはきっと昔に切り開かれ、多くの人が住んでいた場所で、それが、
また、農地に戻っていると勝手に思っている。
でも この地に住みだして、30年を超えているのですが、いつも気になる場所で、時々崖下に降りて、
周囲を眺めては、それこそ箱庭みたいな農地散策を楽しんでいる。

昨年 この車集落周辺のいくつもの谷筋に沿う山際(崖)周辺が、幕末 神戸開港を支えた亜炭の採炭地
で、 公開された絵図や地図からこの谷筋もその一つで、採炭地の中心的な場所と知れました。

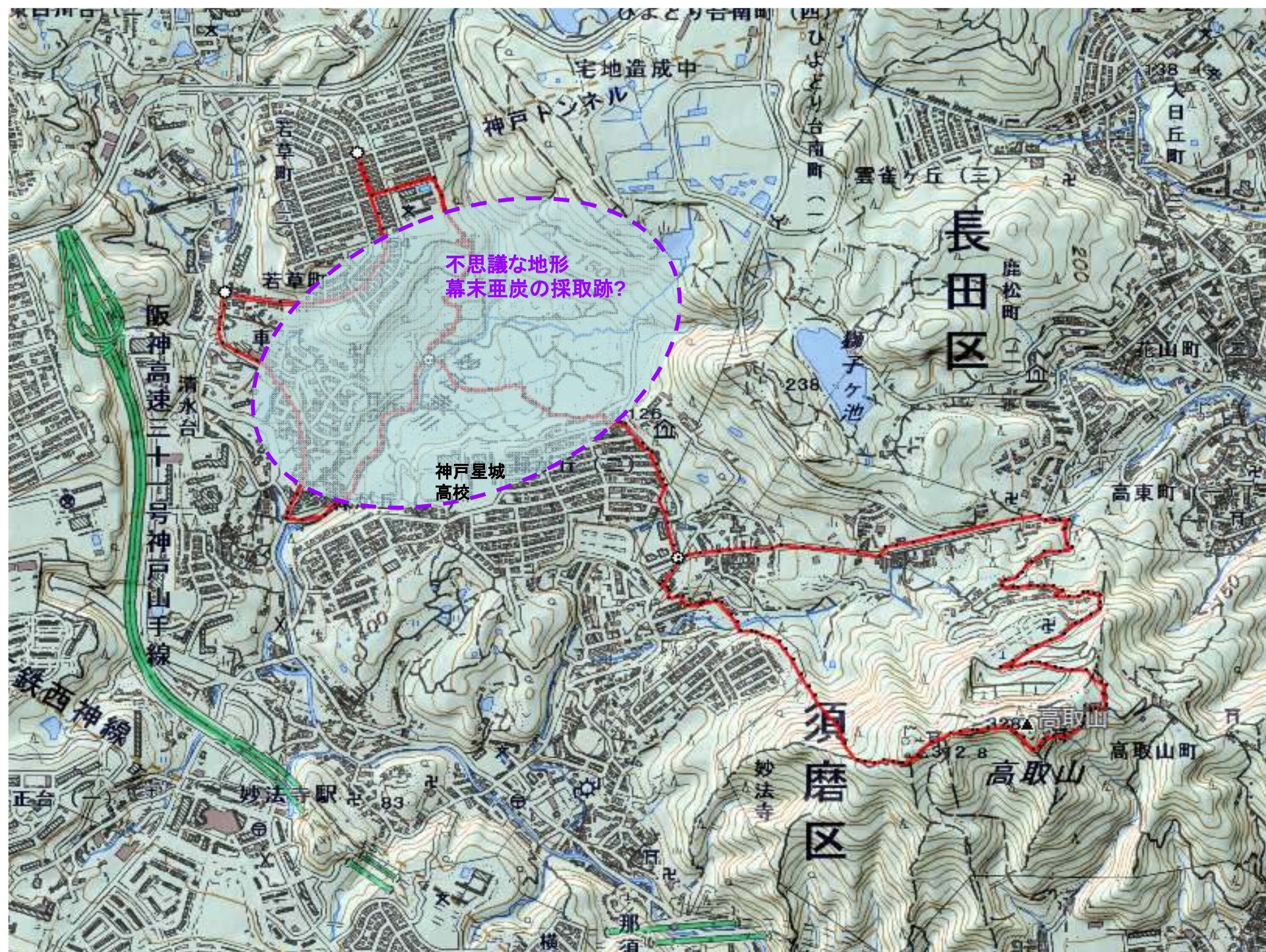
このことから、かつての「たたら鉄山」がそうであったように、この谷筋にはいくつもの採炭坑口とと
もに、 川筋の丘や山が切り開かれ、諸施設が立ち並んだとイメージされ、その痕跡が今の地形となっ
て残っているのでは??などとイメージを膨らませ、walkを楽しんでいる。

今年になって、この「車集落の農地」の畦道から南の緑ヶ丘へ横断して、崖の上へ直接登れることを知って、
「若草の崖の上から眺める南の高取山へ、まっすぐ歩けば、一番の最短コース」とふと頭に浮かんだ。

特に意味もないのですが、1/25000の地図を眺めながらこの最短コースに興味津々。
ちょうど真向いの緑ヶ丘野路山公園から尾根を直登する西六甲全山縦走路 妙法寺登り口を登れば、
最短の横断が継続できる。
最近風早の乗越から飛竜寺霊園の参道を登ってゆくことが多く、この道も久しぶりである。

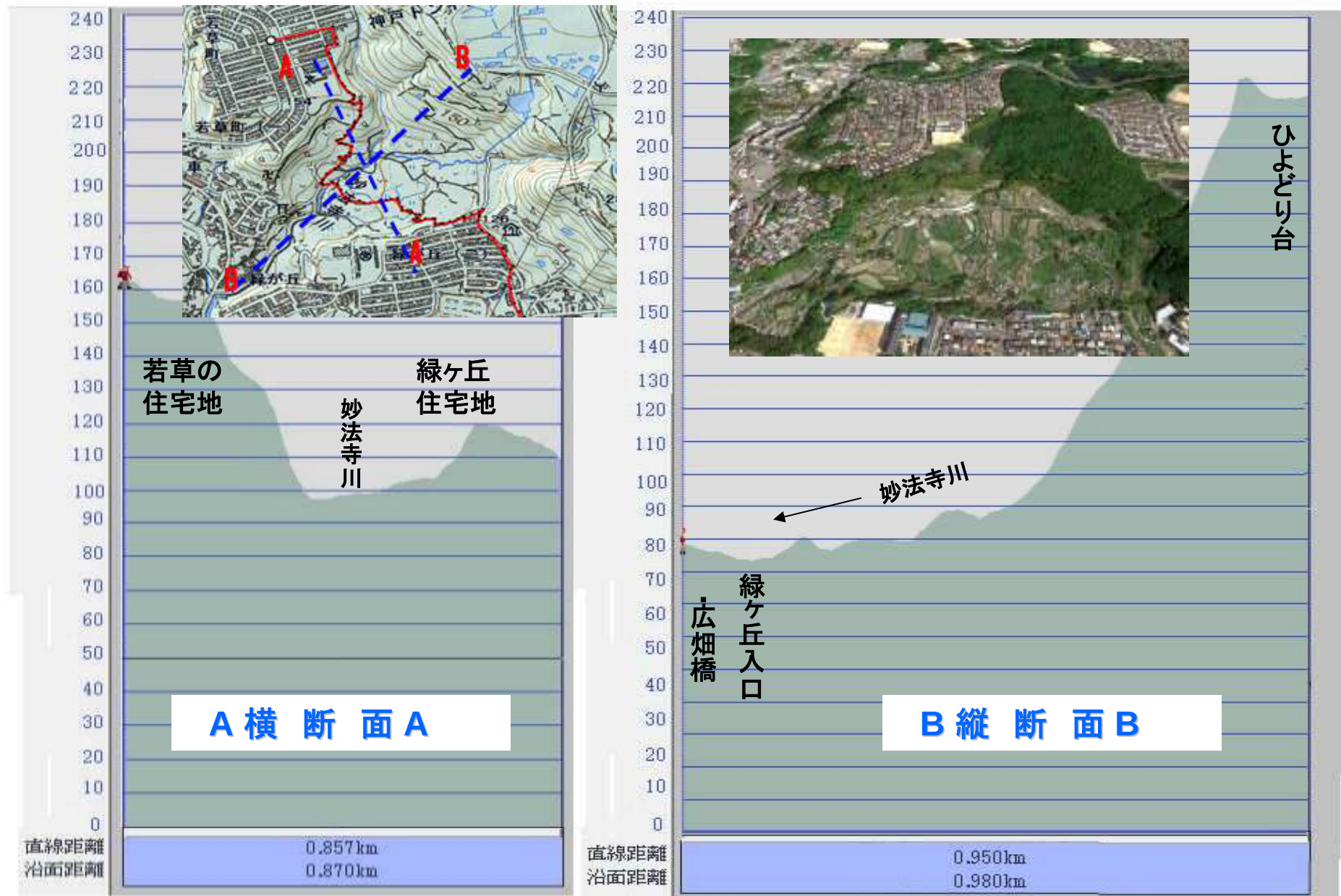
5月16日の午後 若草の自宅から まっすぐ高取山へ向かって「車集落の農地」を横断する最短コース
ウォークにでかけました。
若草の崖の縁にある若草小学校横から南の高取山を眺めてスタートに。





周りに合わぬ不思議なすり鉢状人工地形?? 車集落に隣接する妙法寺川沿いの農地

妙法寺川最上流 通常ならV字の谷なのに平底のすり鉢状



私の住む若草の住宅のすぐ崖下に
不思議な地形の場所がある

長田

板宿

高取山

風早の
乗越

妙法寺

桜の杜

緑ヶ丘

幕末亜炭の採取跡？

須磨アルプス

東山

民の青

桐尾山

横尾山

横尾団地

妙法寺駅

名谷ニュータウン
東落合団地

白川南
IC

若草

Go



南の緑ヶ丘からみるとこんな不思議な地形

幕末亜炭の採取跡？

どう見ても最近整備された地形ではないが、人工的。 どんな歴史があるのか…

周りを含め、いわゆる山や丘が壊された残丘地形の痕跡のように見える。不思議である。

緑ヶ丘

神戸星城高校

Go



15 (図表2) 年に作成された車村、妙法寺村(当時)周辺の炭鉱を記した絵地図(部分)と絵地図の現在地図との対比



An aerial photograph showing a valley with a river (Mitsuhara River) flowing through it. The valley floor is a plateau, surrounded by steep slopes. The surrounding areas are densely built up with houses and buildings. The river is a light brown color, contrasting with the green vegetation on the slopes. The plateau area is divided into small, irregular plots of land, some of which are agricultural fields. The river flows from the bottom center towards the right side of the image.

崖上緑ヶ丘の台地とは直線的な崖で区切られる

神戸星城
高校

古いままに小さく区切られた農地

妙法寺川

幕末亜炭採取の痕跡跡？

私の住む若草からいつも南に高取山から須磨アルプスを眺める崖の下に不思議な農地(今は数多くの日曜農園になっている)。きつい傾斜地にここだけ緩やかな谷の台地である。

この崖をまっすぐ南へ縦断すれば、高取山へは近いのですが、小さな農道ばかりで、やっぱり、広い道から回り込む。

緑ヶ丘と若草・車の集落の崖に挟まれた谷筋を、妙法寺川の最上流の谷川が流れ出す。

その中の凸凹だらけの緩やかな傾斜地がいくつにも細かく区切られた畑など農地のが広がっている。

周囲を山に隔てられ、周囲は山や丘を削り取り、住宅地になっているのに、

ここだけが忘れ去られたように、いかにも人工的に区切られた農地になっている。いかにも人工的な地形になんだろうとずっと不思議な場所でした。

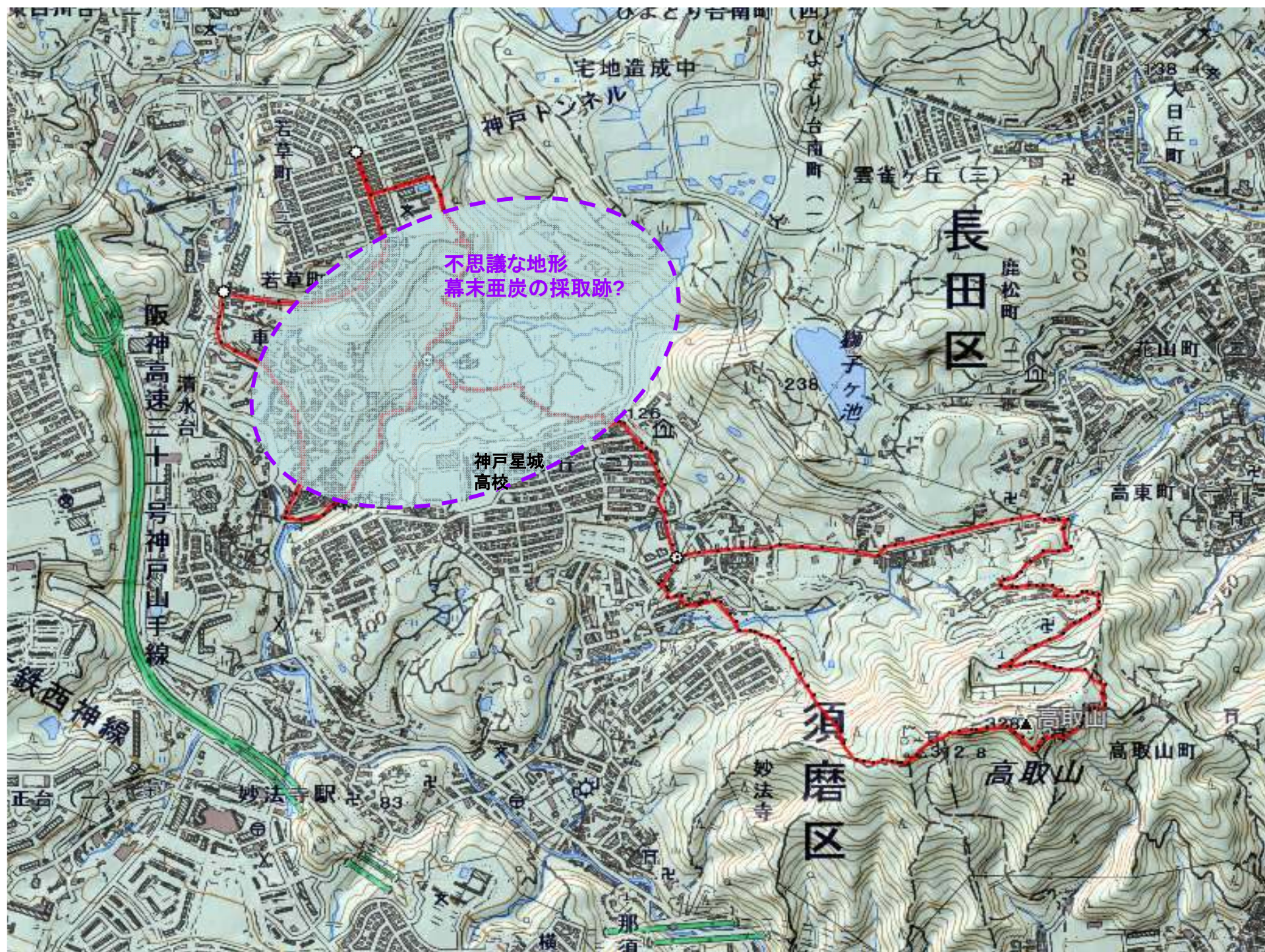
昨年 この周辺を描いた絵地図とともに、幕末の神戸亜炭の採炭地で炭鉱があった場所と知り、この不思議な地形が ずっと以前に人工的に作られた場所と知り、納得。

Google



また、最近 緑ヶ丘側の崖上へ出る小さな出口が1ヶ所だけあるのを知りました。
ぜひ一度、北の若草から高取山へ登る最短コース この崖下の農地を横切って、
高取山へ直登する妙法寺口から登ってみよう。
また、何度も散歩に足を踏み入れたことのあるこの農地の中をじっくり見てみたいと。













若草の住宅地 若草小学校横から眺める南の高取山・須磨アルプス横尾山

この直下 藪に覆われて見えないところが、不思議な人工的すり鉢地形の車集落の農地です。高取山へはここからまっすぐ降りて、南へ行くのが、高取山への最短ルート 一度やってみたかったルートです。

以前はここからそのまま下の段々に区切られた農園が広がるすり鉢状地形の車集落の農地へ降りられたのですが、急な崖を降りてゆくあぜ道で、今は荒廃して 何回か降りようとしたのですが、住人からも 迂回して車の集落大歳神社の横から下りるのがよいと聞く。

地図にはダイレクトに記していますが、集落の中を抜け、大歳神社横から下りる。



若草の住宅地から、一旦西側の神戸三木線に出て、車大道から、車集落の中を東へトラバースして、車の大歳神社に出る。
毎年1月15日「翁舞」が舞われる由緒ある神社である。 14:20



大歳神社の鳥居からまっすぐ崖を下って 車集落の農地に出る坂道を下る。
崖からは南西に須磨アルプスが見える。



降る坂道からは、東に広がるすり鉢状地形が広がる崖下の車集落の農地部が見える 2017.5.16.
北東部から流れ下る妙法寺川。そしてその対岸の崖上にある緑ヶ丘の星城高校の校舎が見える

A photograph of a rural landscape. In the foreground, there is a field with tall, green grass and some weeds. A concrete wall or fence runs across the middle ground. Beyond the wall, there are terraced fields, some of which are covered with green crops. In the background, there are several hills covered in dense green vegetation. A small bridge is visible on one of the hills. A utility pole with power lines is on the right side of the image. The sky is overcast with grey clouds.

車集落の農地が広がる崖下に降りて、北西の隅から南東側を眺める 2017.5.16.

貸農園になっている緩やかな傾斜地に 段々になった貸農園が幾重にもひろがっている。段々畑というと整然とした段々畑が創造されるが、その段々は乱雑ポコポコで、どう見ても古い時代からの段々であると想像される。



北西側からすり鉢地形の農地越しに南東の高取山を眺める 2017.5.16.
東から西へ流れ下る妙法寺川は見えないが、写真中央東西に帯状の緑ヶ丘の崖が見える



北東側から南東側へ 東のすり鉢地形の農地を見渡す



坂を下りきるとすり鉢地形の底 妙法寺川より南側 東西を帯で続く緑ヶ丘の崖 2017.5.16.
正面奥に高取山が見え、この橋から南へ農園の中を登って、緑ヶ丘へと続く道がある。



妙法寺川の橋から西の眺め 2017.5.16.
 右上奥に今降りてきた坂道の上、大歳神社の大クスノキがみえ、
 この農地の出口の南西側には妙法寺駅周辺のマンションが見えている



妙法寺川の橋から東の眺め 2017.5.16.
 北東から妙法寺川が流れ下り、南東には南側の崖
 そしてその向こうに高取山が見える





すり鉢地形の底 妙法寺川より南側 東西を帯で続く緑ヶ丘の崖 2017.5.16.
正面奥に高取山が見え、この橋から南へ農園の中を登って、緑ヶ丘へと続く道がある。



すり鉢地形の底 妙法寺川より 正面に眺める高取山 2017.5.16.





緑ヶ丘の崖より、北側の崖の上 若草小を眺める 2017.5.16.



緑ヶ丘の崖より、若草から続く北側の崖この影の上に車集落がある 2017.5.16.
バックに 神戸三木線が走る谷筋挟んで、東の丘に広がる妙法寺駅北のマンション群
谷筋が幾重にも重なる複雑な地域 そんな中 谷筋に広い平地があるすり鉢地形がある。







2017. 5. 6. 妙法寺若草の街の下 妙法寺川が流れ出る緑ヶ丘との間の平地
明治初め 神戸亜炭を採取した集落跡の痕跡見えると思われる
正面奥の高台が若草の住宅地である



若草町の台地と緑ヶ丘に使われた広い草地 2017.5.6.



若草小学校横北の崖下り口



南側 緑ヶ丘への登り口



南側 緑ヶ丘への登り口 2017.5.16.



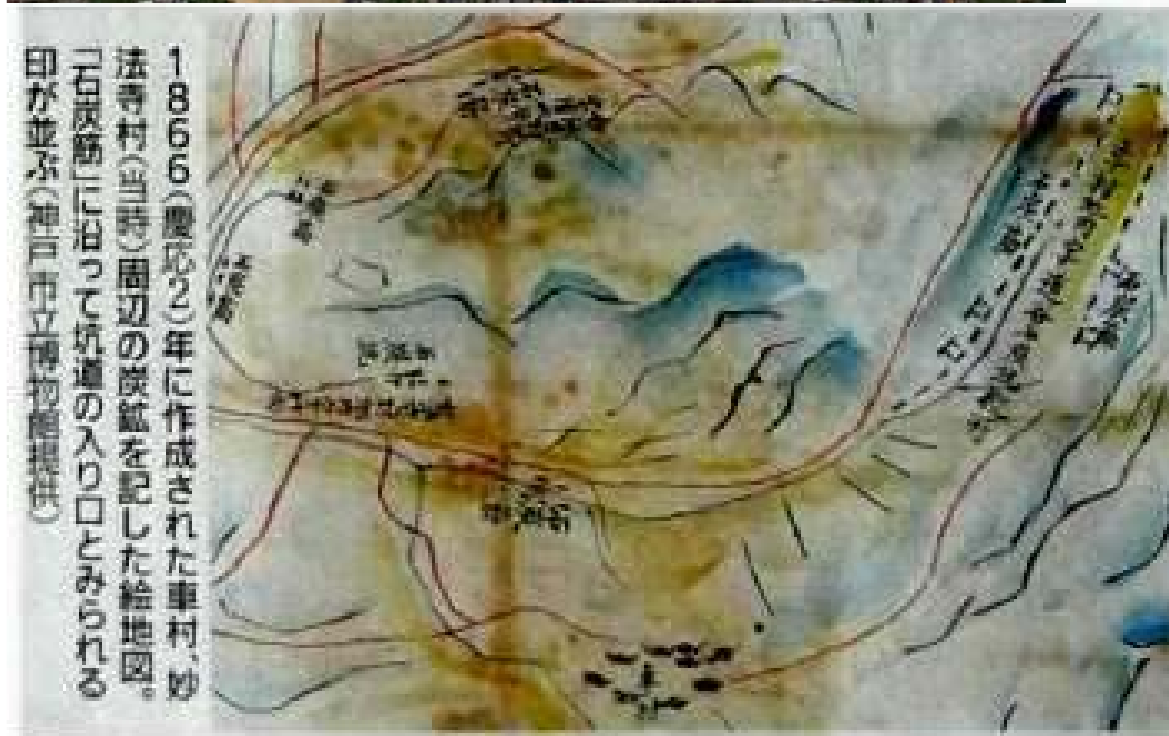
南側 緑ヶ丘への登り口 2017.5.16.



南側 崖の上緑ヶ丘の出口よりすり鉢地形の農地を眺める 2017.5.16.

どう見ても周囲の今の住宅地と同じく、このすり鉢平底の地形は、山が切り開かれて形成された地に見える。　やっぱり幕末の採炭地の痕跡か??





若草山から最短ルートで高取山へ 2017.5.16.

【2】緑ヶ丘から 六甲全山縦走路 野路山登山口より高取山を目指す







北側の崖下からの緑ヶ丘出口



山裾に沿って南の機動隊前に出ると高取山が見えてくる



住宅地が広がる緑ヶ丘、南の高取山の山麓野路山公園の妙法寺登り口から高取山にとりつく 2017.5.16.



高取山 妙法寺 野路山公園登り口 六甲全山縦走路 2017.5.16. 15:09



緑ヶ丘から山裾の住宅地を抜け、機動隊前に出て、住宅地の中を 高取山の山裾へ トラバースすると六甲全山縦走路 野路山公園の高取山登山口である。久しぶりにここから急な尾根筋を登って高取山へ



この登山口の横 西の樹木の間から須磨アルプスが見える



樹木に覆われた高取山の山体をひたすらよじ登ってゆく 2017.5.16.
久しぶり 妙法寺野路山登り口からの高取山縦走路だ。



かつては もっとむき出しのごつごつした登山道と
思っていたが、道が随分整備されている。
視界の利く鉄塔のすぐ横に行けたと思いましたが、
今はコースから外れている 15.16.

A photograph taken from a high vantage point, looking out through a dense canopy of green trees. The branches and leaves of the trees in the foreground are dark and detailed, framing the view. In the background, a cityscape is visible through the haze. A prominent feature is a tall, slender transmission tower (pylon) standing in the middle ground. To the left of the tower, there are several multi-story residential buildings (mansions) clustered together. To the right, a wide, multi-lane highway (the Hanshin Expressway) is visible, with its characteristic overpasses and lanes. The sky is overcast and grey, providing a soft, diffused light to the scene.

樹木の間からは 送電鉄塔の向こうに
西の妙法寺周辺のマンションや阪神高速道路が見える



高取山の岩肌をよじ登る場所も 上へ上へと道は続く 2017.5.16.



岩肌を登りきると横尾団地の向こうに須磨アルプス 馬の背・横尾山が見える。
道はまた東側にターンして、林の中へ 2017.5.16.



岩肌を登りきると横尾団地の向こうに須磨アルプス 馬の背・横尾山が見える。
2017.5.16.



須磨アルプス 馬の背・横尾山が見える。 2017.5.16.

A photograph of a dense forest. In the center, a large, thick tree trunk stands prominently. The ground is covered with brown, fallen leaves and some green undergrowth. The background is filled with more trees and foliage, creating a lush, green environment. The lighting is bright, suggesting a sunny day.

また、林の中の縦走路へ入ってゆく。 2017.5.16.
この高取山の縦走路は密集したウバメガシの中を抜けてゆく横尾山から旗振り山への縦走路
とは植相が異なり、明るいことにふっと気が付く。



A panoramic view of a city, likely in Japan, seen from a hillside. The foreground is filled with lush green foliage, including a prominent dark, curved branch. The middle ground shows a dense urban area with various buildings, including a large, modern high-rise on the left. The background features rolling hills and a hazy sky. The overall scene is captured in a wide-angle shot, providing a comprehensive view of the landscape.

今度は北東側が開け 直下に緑ヶ丘 そしてその奥に先ほどトラバースしてきた
星城高校・若草の住宅地そして白川台が見える



縦走路の傾斜が段々緩くなって 高取山の山頂部も近い 2017.5.16.



高取山の稜線へ出る 2017.5.16.

高取山は双耳峰 電波塔のある西の峰から高取神社のある東の峰へ 道をたどる



登りだして 30分ほど 稜線に出て 南側が開け、南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山の連なりが見え、須磨の海がかすんでいる
2017.5.16. 15:37



南西の須磨海岸に連なる須磨アルプスから旗振り山の西六甲の山並み その手前に横尾団地の住宅地
また 左直下には 狭い谷筋を南の板宿へ下る神戸三木線沿いが見えている 2017.5.16. 15:37



西の峰のすぐ下で 板宿・禅昌寺から登ってきた道に合流。15:41



双耳峰の高取山の荒熊神社・電波塔のある西峰





双耳峰の高取山の荒熊神社・電波塔のある西峰 2017.5.16.



西の峰から東の峰の鞍部 ここから高取神社の神域になる 2017.5.16. 15:48



高取山の東の峰 頂上は高取神社の北側の峰にあり、今日は頂上から神社へ回り込む15:57



稜線からは長田の街が一望 2017.5.16.



東の峰の山頂部からは南の崖の縁にある高取神社の境内が見えている 2017.5.16.



高取神社から眺める東南 神戸の市街地 2017.5.16.



若草から高取山へ 約1時間30分ほどで 北から南への最短ルートwalk 達成 16:02

高取神社 社殿



帰りは縦走路から分かれ、北の飛竜寺霊園から風早の乗越に降る 2017.5.16. 16:06



石段下の茶店から北へ折れるのですが、神戸市街地や六甲の山並みが見える展望所まで そのまま縦走路を少し行って、戻ることにする



高取山山頂部東端の展望所 2017.5.16. 16:12
高取山の東 風早の乗越から丸山・長田へ下る谷筋が一望 背後
には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望される



高取山山頂部東端の展望所からの展望 2017.5.16. 16:12

高取山の東 風早の乗越から丸山・長田へ下る谷筋が一望 谷を下ってくる神戸電鉄の電車が見える
背後には菊水山から摩耶山・六甲山までの山並みが一望



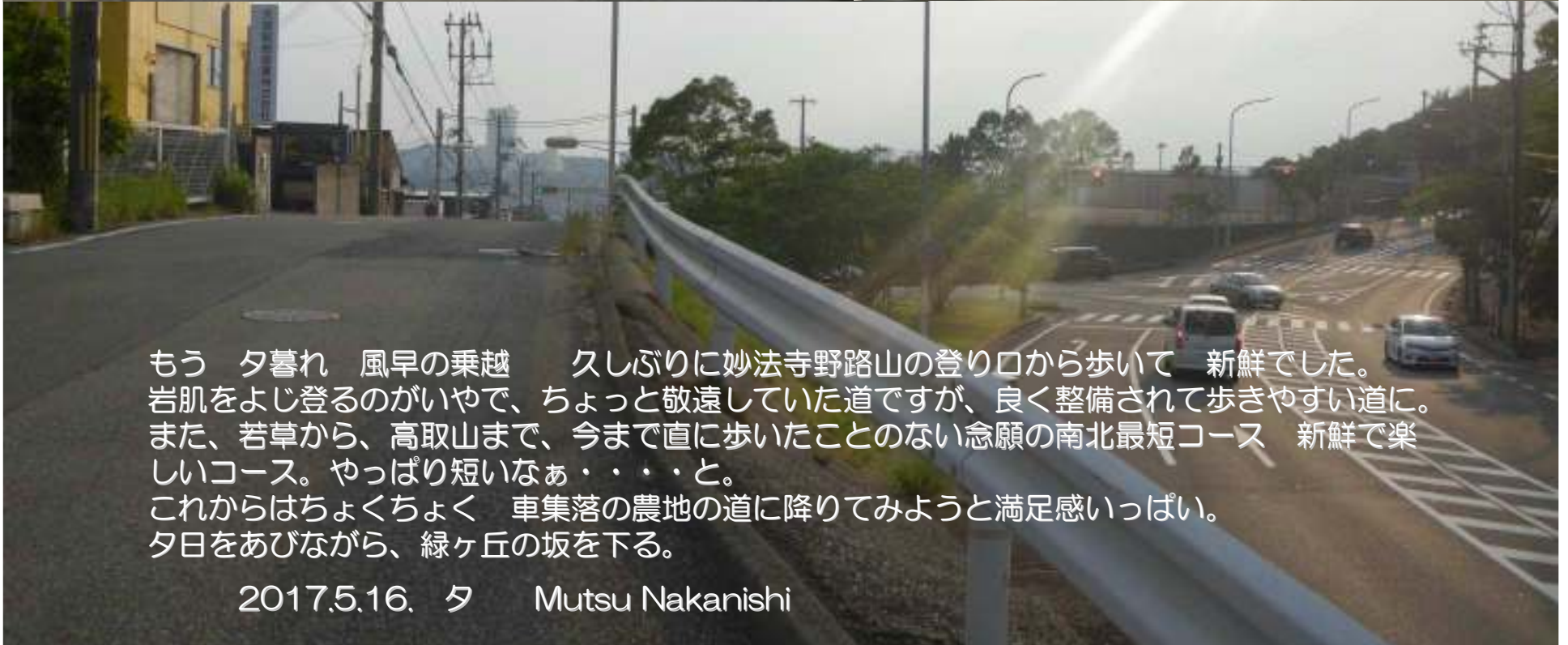
茶店の横まで戻って 北へ高取山の山腹を回り込む 2017.5.16.



飛竜寺の霊園の道に入ると 北に若草の住宅地 若草小学校が遠望 2017.5.16.



2017.5.16. 16:34 妙法寺と長田の乗越を少し下った飛竜寺の入り口に



もう 夕暮れ 風早の乗越 久しぶりに妙法寺野路山の登り口から歩いて 新鮮でした。
岩肌をよじ登るのがいやで、ちょっと敬遠していた道ですが、良く整備されて歩きやすい道に。
また、若草から、高取山まで、今まで直に歩いたことのない念願の南北最短コース 新鮮で楽
しいコース。やっぱり短いなあ・・・と。
これからはちょくちょく 車集落の農地の道に降りてみようかと満足いっぱい。
夕日をあびながら、緑ヶ丘の坂を下る。

2017.5.16. 夕 Mutsu Nakanishi



不思議な人工的地形 車集落の農地 いつも上から見下ろしてばかりでしたが、今回はじっくりと周りを見ながら農園が広がる中を歩きました。

どうも、ニュータウンが広がる前の時代の痕跡が残る街道筋ではないか・・・

幕末 神戸開港に寄与した最短地の痕跡が狭い谷あいをつなぐような田園地に変えたように思う。田舎の田園へタイムスリップしたような田園とそのあぜ道。 これからも時々walkingの道に。

車集落大歳神社の大楠に沈んでゆく夕日に向かって ぶらぶら 畦道を若草へ

この妙法寺界隈 歩くのにはほんとうにことかかないなあ・・・ 満足の今日のウォークでした。

2017.5.16.夕 車集落の田園地を沈む夕日に向かって 帰りを急ぐ Mutsu Nakanishi



若草の崖(若草小学校横)の上から須磨アルプス遠望
眼下には 東西に広がる「車集落のすり鉢地形の農地」 越しに緑ヶ丘の台地

南の緑ヶ丘からみるとこんな不思議な地形

幕末亜炭の採取跡？

どう見ても最近整備された地形ではないが、人工的。 どんな歴史があるのか…

周りを含め、いわゆる山や丘が壊された残丘地形の痕跡のように見える。不思議である。

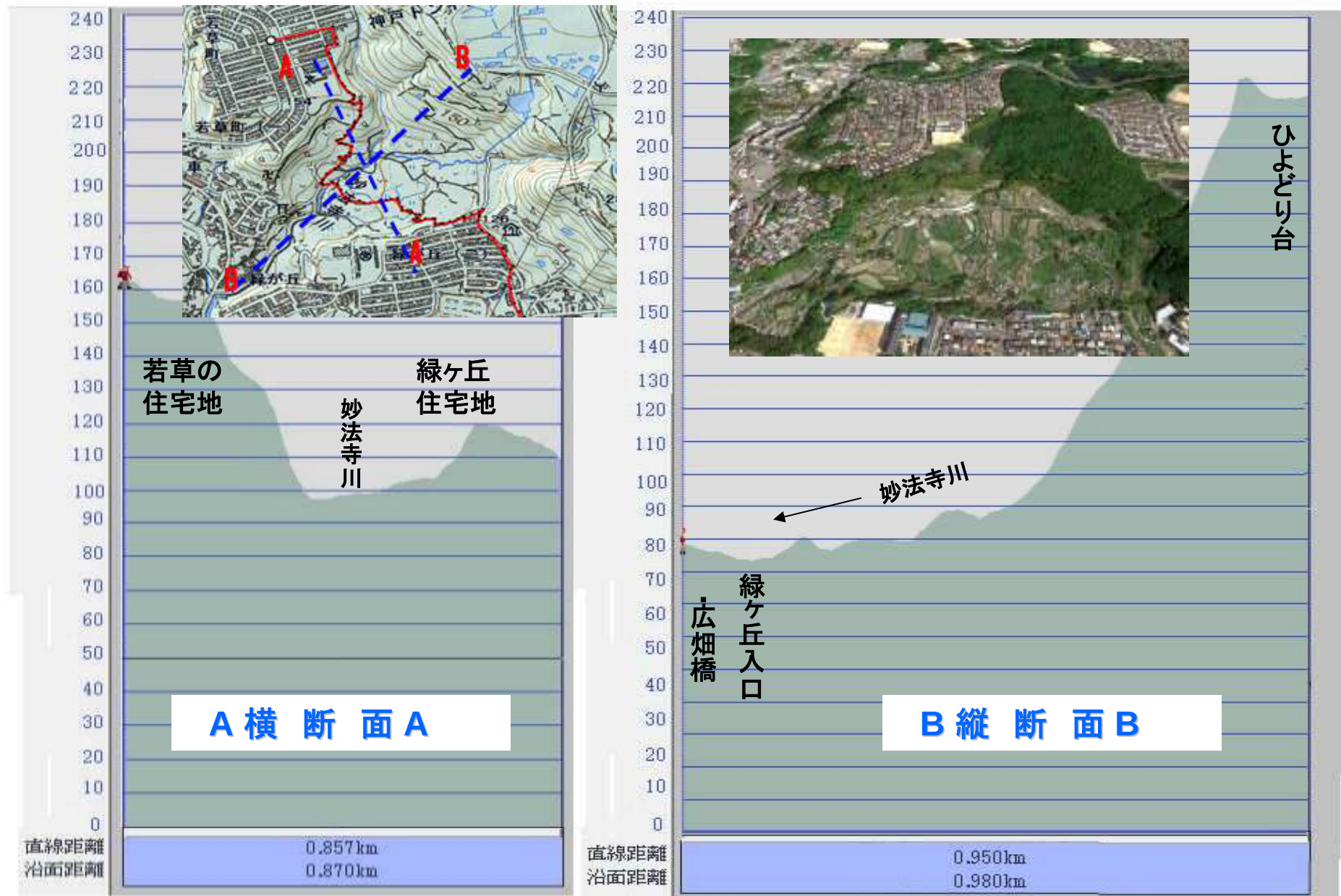
緑ヶ丘

神戸星城高校

Go

周りに合わぬ不思議なすり鉢状人工地形?? 車集落に隣接する妙法寺川沿いの農地

妙法寺川最上流 通常ならV字の谷なのに平底のすり鉢状







若草の住宅地 若草小学校横から眺める南の高取山・須磨アルプス横尾山

この直下 藪に覆われて見えないところが、不思議な人工的すり鉢地形の車集落の農地です。高取山へはここからまっすぐ降りて、南へ行くのが、高取山への最短ルート 一度やってみたかったルートです。

以前はここからそのまま下の段々に区切られた農園が広がるすり鉢状地形の車集落の農地へ降りられたのですが、急な崖を降りてゆくあぜ道で、今は荒廃して 何回か降りようとしたのですが、住人からも 迂回して車の集落大歳神社の横から下りるのがよいと聞く。

地図にはダイレクトに記していますが、集落の中を抜け、大歳神社横から下りる。

若草山から最短ルートで高取山へ 2017.5.16.
崖下の不思議な谷筋「車集落の農地」を横断して、高取山へ

